

やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ構想 (素案)

令和5年 3月

山梨県

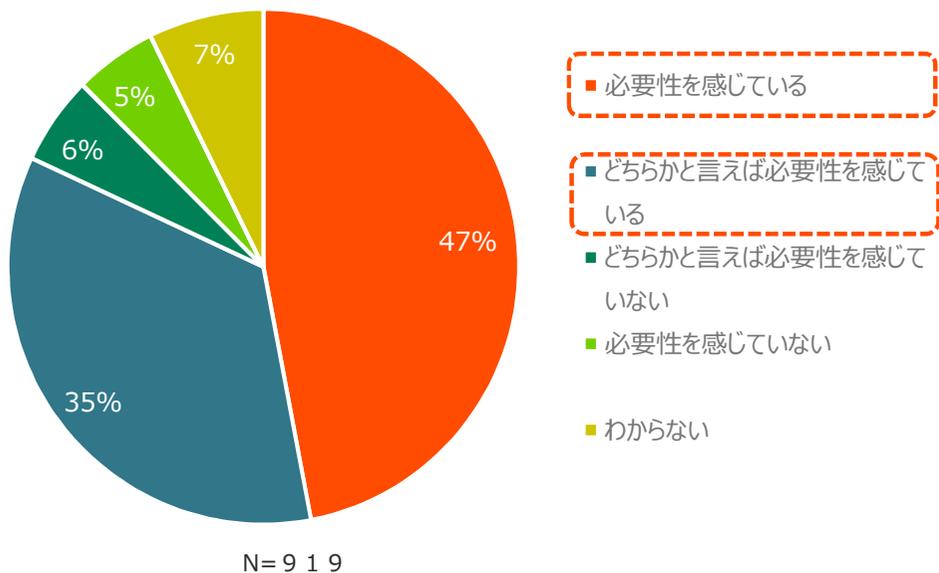
やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ構想（案） 目次

I 現状と課題	P1
II 基本理念	P2
III 豊かさ共創に向けた取り組みの方向性	P2
IV 物価高騰・労働力不足など喫緊の課題に対応するアクション	P3
V 中長期で取り組む3つのアクション	P5
(1) 循環サイクルの構築プロジェクト	
①循環サイクルの構築	
②豊かさ共創宣言（社会的コンセンサス）	
③賛同企業募集の推進体制	
④豊かさ共創フォーラムの組織体制	
(2) リスキングの推進プロジェクト	
①キャリアアップ・ユニバーシティの設置	
②提供するサービス	
(3) 豊かな「学び」の環境整備プロジェクト	
VI スケジュール	P12

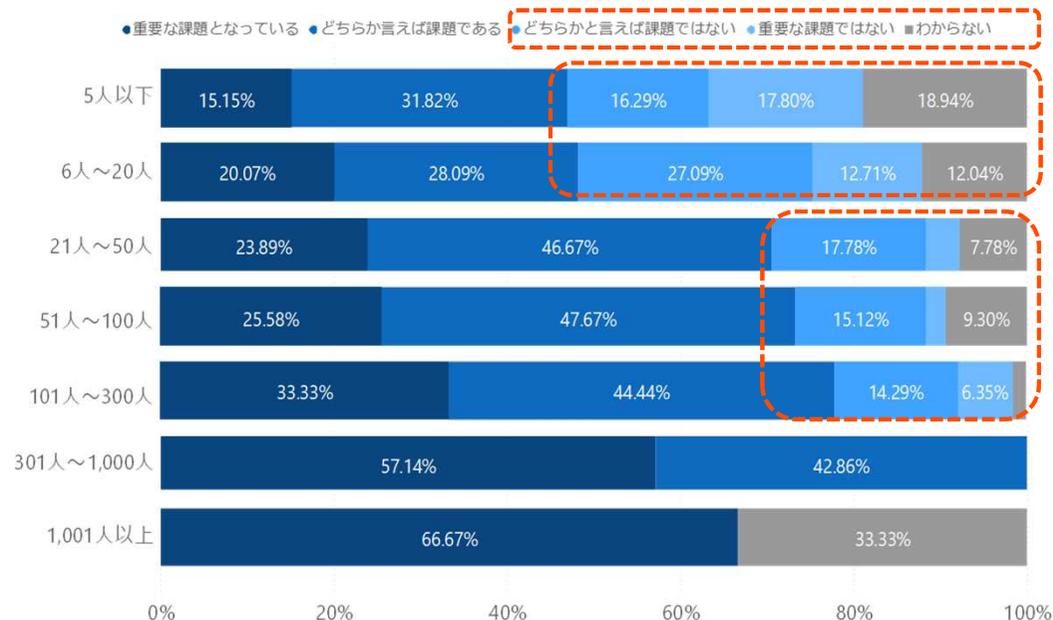
I. 現状と課題

- ✓ 物価高に伴う価格転嫁は、約7割の企業が多少なりとも価格転嫁できているが、価格転嫁率は約4割にとどまり、2023年1月の実質賃金は、前年同月比4.1%減。
 (出典：(株)帝国データバンク 価格転嫁に関する実態調査(2022年12月)、厚生労働省 毎月勤労統計調査(速報))
- ✓ 労使共にリスキングの必要性は認識しているが、実行に向けて様々な課題に直面しており、人材育成に取り組むための環境整備が必要。
 (主な課題)
 - ・人材育成の計画策定や仕組みづくりが出来ていない(人事評価、目標管理、従業員のインセンティブ等)
 - ・経済的、時間的余裕がない
 - ・魅力的な教育メニューや相談体制が不十分(見つけ易さや選び易さを含めて)
- ✓ 企業規模が小規模になるほど人材育成の必要性を感じておらず、デジタルスキルの向上も課題として捉えきれていない。

Q. 人材育成への投資拡大の必要性



Q. デジタルスキル向上を進める上での課題



Ⅱ. 基本理念

- ✓ 豊かさ共創社会を目指して、企業の持続的成長による賃金向上と物価上昇に対応した賃上げ原資の確保のため、労使や教育機関、行政などが連携して「豊かさ共創基盤」を構築し、労使が共益関係を育む中で、働き手のスキルアップによる生産性向上、企業の収益向上の好循環を山梨で実現する。

Ⅲ. 豊かさ共創に向けた取り組みの方向性

喫緊の課題に対応する取り組み

外部環境の変化に対応できる労使関係の構築

中長期的な取り組みの方向性

1. 労使の「豊かさ共創」に向けた関係構築の後押し

- ・労使による「能力開発→収益向上→適正配分」の認識共有
- ・賛同企業によるシナジー効果の創設

2. 企業の収益向上を促すリスキリングの支援拠点の整備

- ・企業側、働く側にとってスキルアップしやすい体制整備
- ・全て地域で均質的に学びの情報が入手できる環境整備
- ・企業ニーズに応じたDX等のスキル、ハイエンドな特殊技術などメニューの充実
- ・受講者のインセンティブに繋がる能力開発の見える化（評価）

3 県民の学びの裾野を広げ「豊かさ共創」社会を実現

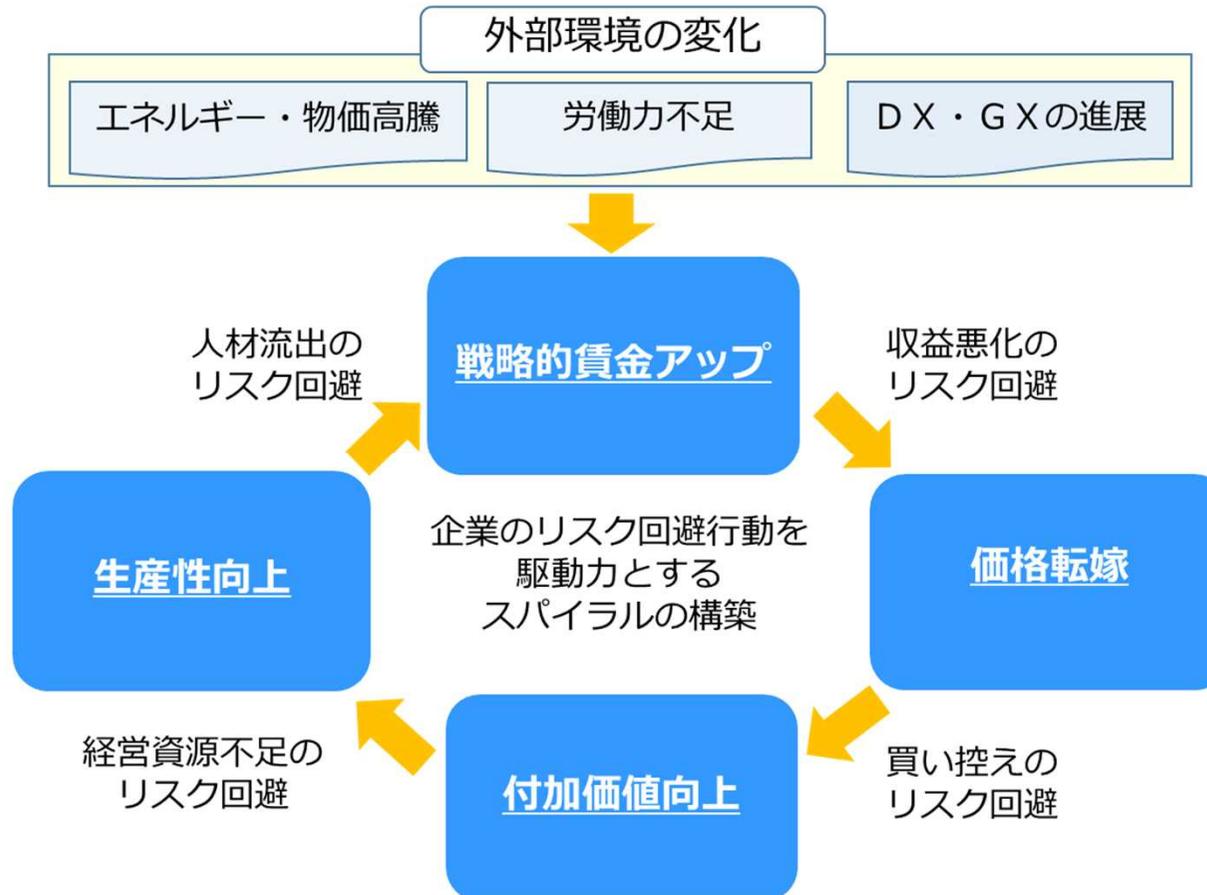
- ・メディアと連携した県民運動の展開
- ・人材投資に費用や時間も掛かるため企業に対する公的支援
- ・幼児教育から大学教育、更には社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる教育環境の整備

IV. 物価高騰・労働力不足など喫緊の課題に対応するアクション

①「労使共益の循環モデル」の構築

外部環境の変化（エネルギー・物価高騰、労働力不足、D X・G Xの進展）に対する企業のリスク回避行動を駆動力として「労使共益の循環モデル」を構築する。

「労使共益の循環モデル」の構築



IV. 物価高騰・労働力不足など喫緊の課題に対応するアクション

②「豊かさ共創基盤の構築に向けた共同宣言」

エネルギー・物価高騰が進む中、第1弾として「豊かさ共創会議」の構成員等による共同宣言を行い、気運醸成を図ることとしたい。

【目的】

豊かさ共創基盤の構築に向け、迅速な賃金アップと原材料費、エネルギーコスト等の上昇分を適切に価格へ転嫁することについての気運を醸成するとともに、働き手のスキルアップによる付加価値向上及び生産性向上を促進し、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

【内容】

(1) 迅速な賃金アップ及び適正な価格転嫁の促進

ア 県内企業への調査等を通じた情報収集及び調査結果の共有と発信

イ 企業からの賃金アップや価格転嫁に関する相談への対応

ウ 賃金アップや価格転嫁に関する支援策、各種情報等の共有

(2) 働き手のスキルアップによる付加価値向上及び生産性向上

ア 働き手のスキルアップに関する支援策、各種情報等の共有と発信

イ スキルアップに関する相談への対応

ウ 付加価値や生産性向上につながる取組の促進

【共同宣言の関係者】

- 山梨県
- 経済産業省関東経済産業局
- 厚生労働省山梨労働局
- 山梨県中小企業団体中央会
- 山梨県商工会連合会
- 山梨県商工会議所連合会
- 山梨県経営者協会
- 山梨経済同友会
- 日本労働組合総連合会山梨県連合会
- その他、豊かさ共創会議の構成員 など

【共同宣言を行う時期】

令和5年4月～5月で調整

V.中長期で取り組む3つのアクション

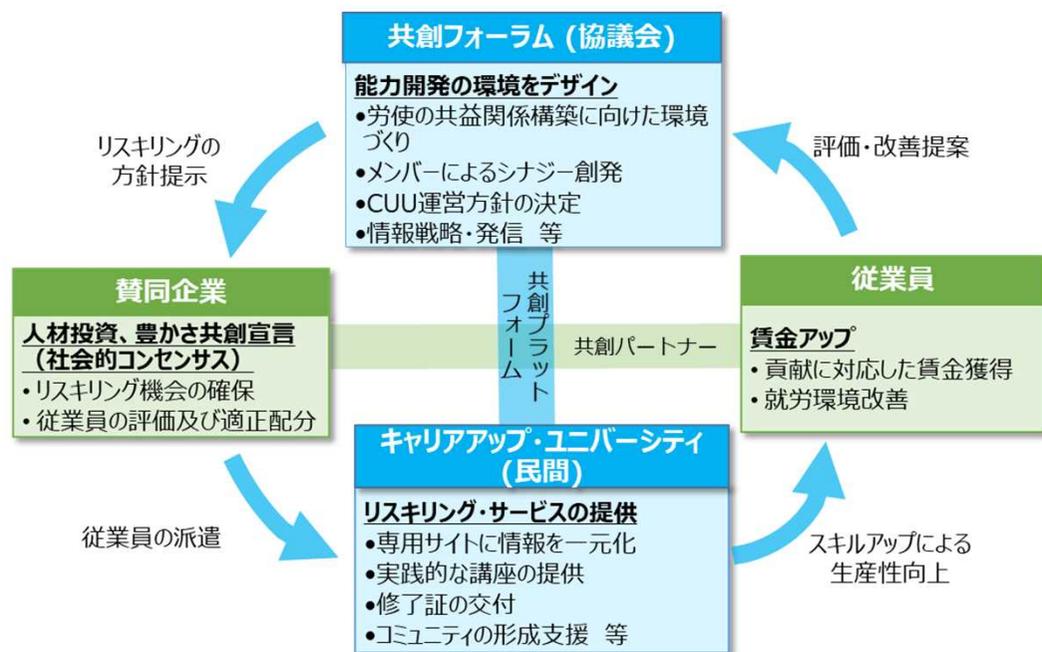
(1) 循環サイクルの構築プロジェクト

①循環サイクルの構築

- ✓ 賛同企業にリスキングサービスを提供し、賃金アップという形で労働者に分配する循環サイクルを様々なステークホルダー連携の下、構築する。

① 循環サイクルの構築

～ 豊かさに向けた労使の協働 ～



② 循環サイクルを支えるステークホルダー

～ 豊かさの実現に向けて ～

団体等	役割
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略の共有と必要な能力・スキルの明確化 ・ 能力開発に対する時間面・費用面の配慮 ・ 従業員に対し収益を適正に配分
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的なスキルアップと企業収益への貢献
教育機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産学連携による教育サービスの提供
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能力開発の経済的・社会的インセンティブの提供 ・ 経営者の人材投資への意欲喚起 ・ 豊かさ共創基盤構築に向けた周知・普及
経済団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者の人材投資への意欲喚起 ・ 産学連携による教育サービスの提供
労働団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働組合を通じた豊かさ共創基盤の周知・普及
金融	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能力開発の経済的インセンティブの提供
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成功事例を広報し全県民運動を展開

V.中長期で取り組む3つのアクション

(1) 循環サイクルの構築プロジェクト

② 「豊かさ共創宣言（社会的コンセンサス）」

- ✓ 働き手のスキルアップによる収益を適切に働き手に分配する持続的な好循環の構築に向け、この理念に賛同する企業が労使の共益関係を表す「社会的コンセンサス」として、「豊かさ共創宣言」を行う。

【豊かさ共創宣言】

<目的>

物価高騰に対応した賃上げについて労使で認識を共有し、働き手のリスクリングによる収益増加を働き手に還元する取り組みに意欲的な企業が宣言を行い、生産性向上と就労環境改善の好循環について気運を醸成し県内企業への波及につなげる。

<対象>

県内すべての企業

<内容>

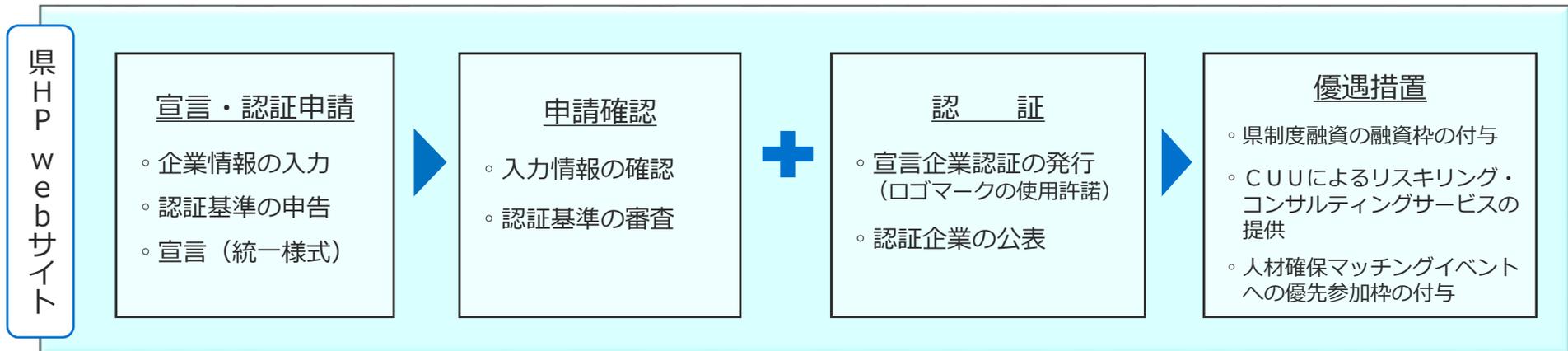
- ・ 賛同する企業が県HPウェブサイト上の**統一様式の宣言書**で宣言する。
- ・ 宣言企業をPR。

やまなし豊かさ共創スリーアップ推進宣言（案）

- ・ 労使双方で物価上昇に負けない賃上げの必要性を認識・共有します。
- ・ 生産性向上と働き手の就労環境改善の持続的な好循環を構築する理念に賛同します。
- ・ 従業員のリスクリングに取り組み、生産性向上に伴う企業収益が向上した時には、その果実を適切に従業員の賃金に還元します。

宣言します

○○○（企業名）



V.中長期で取り組む3つのアクション

(1) 循環サイクルの構築プロジェクト

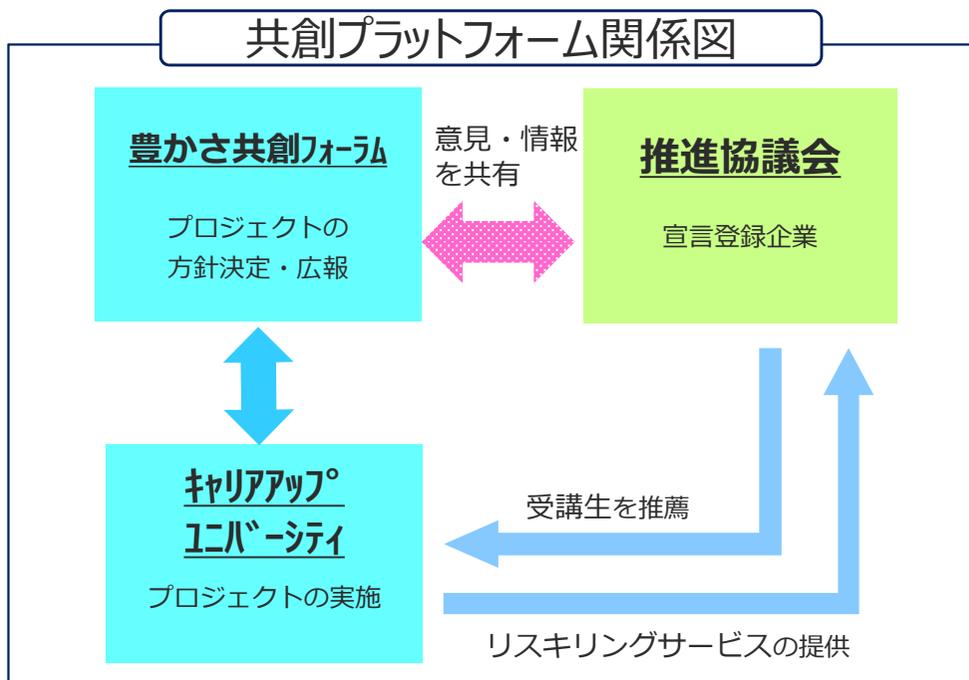
③賛同企業募集の推進体制 –「豊かさ共創スリーアップ推進協議会」の設立–
 ✓ 豊かさ共創社会の実現を目指し、労使が共益関係を構築する環境を整備するため、宣言企業で構成する推進協議会を立ち上げ、情報共有や交流を通じて賃上げや人材育成への意識を高め、県内企業への波及に繋げる。

① 発起人の開拓

- ・宣言に意欲的な企業、団体に働きかけ
- ・発起人には推進体制構築について中核的役割を担っていただく

② 協議会の設立

- ・発起人を中心に宣言登録企業で構成
 - ・豊かさ共創の気運醸成、協議会への参画を県内企業へ働きかけ
- 【取組内容】
- ✓国・県の賃上げ環境改善に係る支援制度の活用促進
 - ✓登録企業間の情報共有
⇒リスケリングサービスについて意見交換
 - ✓未宣言企業に対する気運の醸成
⇒取組内容の横展開で宣言企業を増やす
- ※商工関係団体等には、アドバイザー的役割を依頼していく



③ 横展開・波及

県内企業



宣言

参画

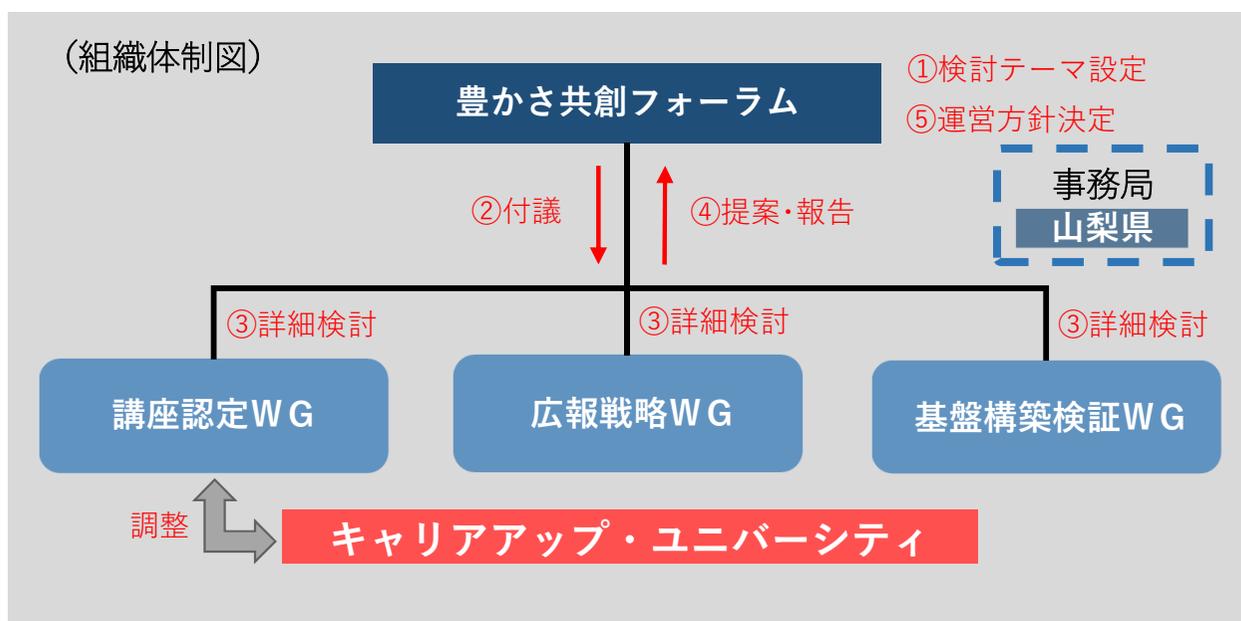
- 「豊かさ共創スリーアップ推進宣言」企業として登録
 (スキルアップ=収益アップ=賃金アップ)
- 県HPのwebサイトから登録
 - ✓宣言企業の公表
 - ✓優良企業の表彰 等

V.中長期で取り組む3つのアクション

(1) 循環サイクルの構築プロジェクト

④豊かさ共創フォーラムの組織体制

- ✓ 豊かさ共創フォーラムは、豊かさ共創社会の実現に向けた推進エンジンとして、山梨キャリアアップ・ユニバーシティ（能力開発プラットフォーム）の運営方針を決定する機関とし、能力開発の方向性・環境づくりをデザインする産官学労社広民（※）による協働組織体。 ※産業界・民間企業、政治・行政、大学・教育機関・研究機関、労働組合、社会貢献団体・NPO・社会起業家、メディア、国民・県民



(役割)

◆ 「**豊かさ共創会議**」の**拡大メンバー**で構成し、WGの議論を踏まえ、能力開発の方向性・環境づくりをトータルのデザインし、**運営方針を決定**する。

◆ **実務者レベルのメンバー**で構成し、検討テーマごとWGを設置し、方向性や戦略、計画などの**詳細検討**。整理したことを**フォーラムに提案・報告**する。

(進め方)



V.中長期で取り組む3つのアクション

(2) リスキングの推進プロジェクト

① キャリアアップ・ユニバーシティの設置

- ✓ 山梨で働く人のリスキングを推進する拠点として、「キャリアアップ・ユニバーシティ」を設置し、新たな価値を創造し、山梨の未来をリードする6つの人材タイプを育成する。

目指すべき人材像

人材のタイプ、能力	成長が見込まれる産業						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	デジタル ものづくり 産業	ホスピタリ ティ産業	サステナビ リティ 産業	スマート 農業	美酒・美 食産業	コンテンツ 産業	中小企業 の革新
【タイプ1】新ビジネスを創造する DX 推進人材 ✓ AI、IoT の最先端テクノロジーを駆使し、ものづくり、観光、食、サービス等々のあらゆる業界で DX（デジタル&トランスフォーメーション）を企画・実行する人材	●	●	●	●	●	●	●
【タイプ2】ものづくりの未来を支える現場変革人材 ✓ 精密加工等の生産性向上を現場で牽引できるエンジニア ✓ ものづくり現場の脱炭素、グリーン化を推進できる GX 人材	●	-	●	-	-	-	●
【タイプ3】山梨の豊かさを伝えるホスピタリティ・共感力人材 ✓ 他業界を巻き込みながら観光業の高付加価値化を推進する経営人材 ✓ 観光業の現場の生産性向上を IT を活用し、推進できる人材	-	●	-	-	●	●	-
【タイプ4】山梨に風を起こす新産業プロデューサー人材 ✓ 次世代社会のビジョンを描き、ビジネスモデル開発を主導できる人材 ✓ 美酒・美食を核にする新産業のプロデューサー人材	-	●	●	-	●	●	-
【タイプ5】革新的な事業を立ち上げるイノベーター人材 ✓ 革新的なアイデア・技術シーズ等を活用して起業するスタートアップ人材 ✓ 企業内で新規事業を起こすアントレプレナー人材	●	●	●	-	●	●	-
【タイプ6】中小企業の高度化に向けた経営戦略人材 ✓ 中小企業の経営人材（主に後継者） ✓ 中小企業のビジネスモデルを変革できる経営企画人材 ✓ 中小企業の経営変革をサポートできる専門人材	●	-	-	-	●	-	●

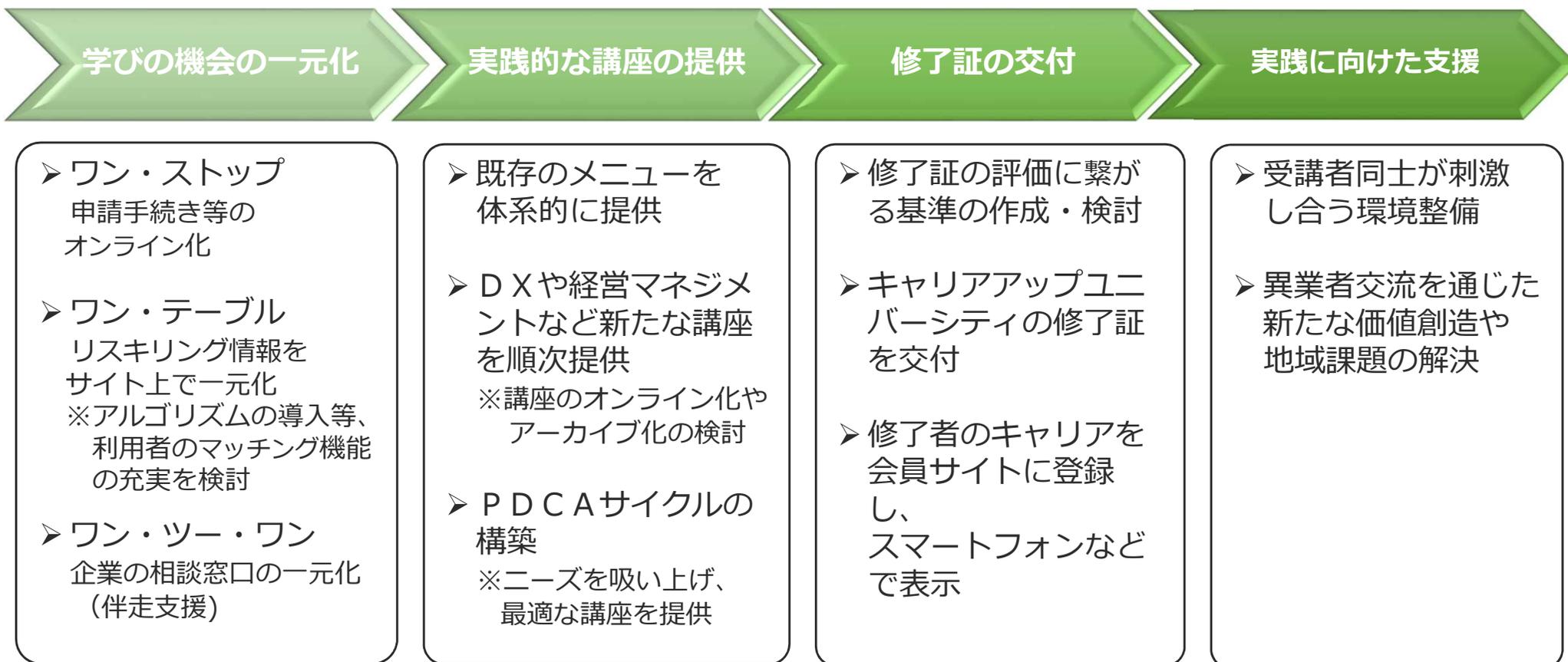
V.中長期で取り組む3つのアクション

(2) リスキングの推進プロジェクト

② キャリアアップ・ユニバーシティの提供するサービス

- ✓ 県内外の教育機関等と連携し、企業の成長を支える生産力と創造力を生み出すリスキングサービスを一貫して提供する。

提供するサービス



V.中長期で取り組む3つのアクション

(3) 豊かな「学び」の環境整備プロジェクト

- ✓ 成功事例の創出を通じた豊かさ共創の全県への普及と生涯を通じた「学び」の土壌を育む。

「豊かさ共創」に向けた県民運動の展開

取り組みの方向性

- ・メディアと連携した情報発信
- ・「スリーアップ」宣言企業のPR
- ・気運醸成に向けたイベント等の開催
- ・経営者、労働者の「学び」への動機づけ（意識改革）
等

キャリアアップを修了した者の交流の場・共創の場の確保

取り組みの方向性

- ・成功事例創出に向けた支援
- ・成功事例の検証・PR
- ・交流活動・共創活動の活性化
- ・女性や障害のある方のキャリアアップ支援 等

幼児からシニア世代まですべての世代を通じた学びの機会の環境整備

幼児～小中学生～高校生

山梨県の豊かな自然環境や県内で働く人々と触れ合い学びながら、**自ら考えチャレンジすることの楽しさ**を知る

大学生

地域の企業と一緒に共創しながら、山梨県の地域課題や地域の魅力を知り、**自らの夢やビジョンを構想していく**

※SPARC事業における山梨大学・山梨県立大学の取り組みの方向性を共有

社会人

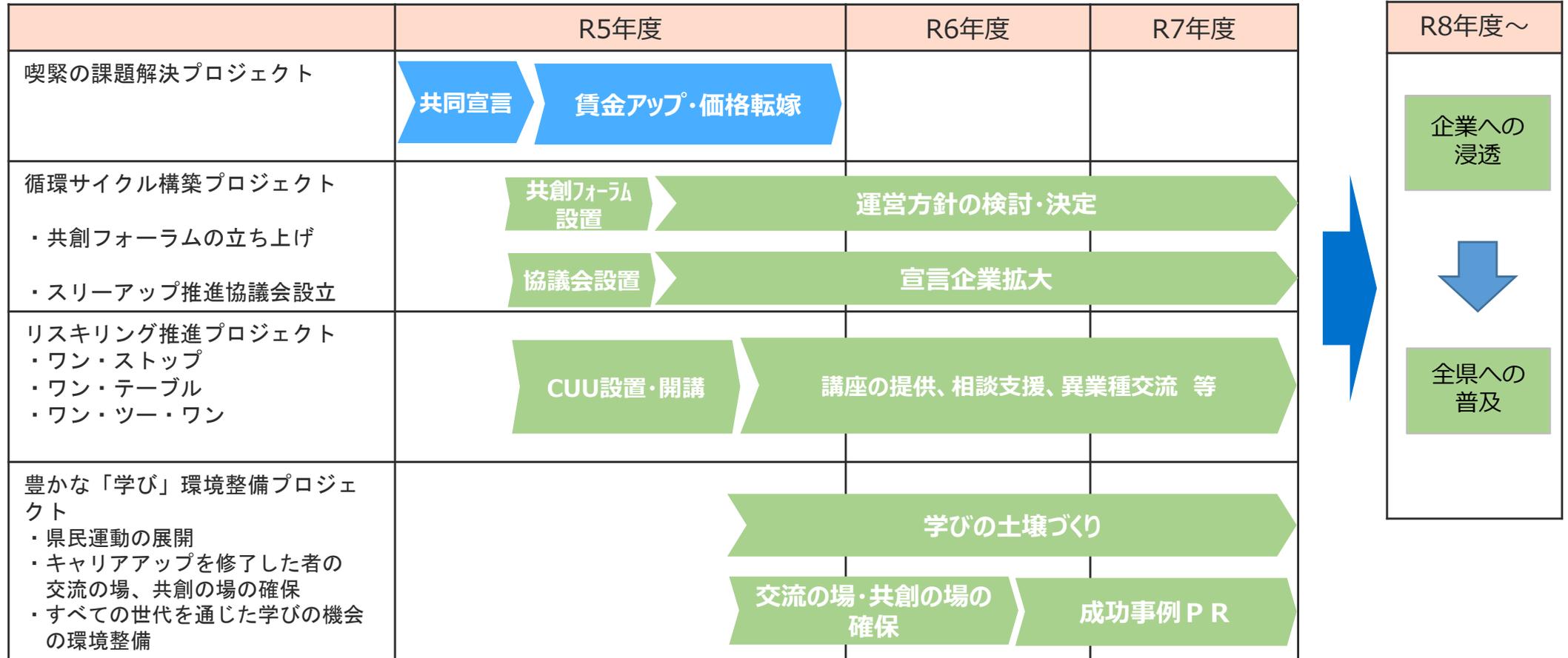
山梨県の将来の産業や人材を想像し、豊かな未来を描きながら、**自らに足りない技能・知識を身に着けていく**

シニア世代

人生100年時代を豊かに生きるために、これまでの知識や経験を活かしながら、**新たな知識を学びチャレンジしていく**

VI.スケジュール

✓ 3年間集中的に施策を展開し、R5年度は豊かさ共創基盤の構築と経営者・労働者の意識改革を図る。



やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ構想（案）

発 行 山 梨 県

編 集 山梨県産業労働部産業人材育成課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6 - 1

TEL 055-223-1567

<https://www.pref.yamanashi.jp/>

発行年月 2023年3月